激流に負けず:空兵の瞬時の判断が命を救う

Against the current: Airman's split-second decision saves a life

July 24, 2025

By Airman Kayla Karelas 374th Airlift Wing Public Affairs

「迷っている時間などなかった。1秒の遅れが命取りになるかもしれなかった」

冷たい川の水が激しく渦の音を立てて、制御不能な水流が容赦なく流れゆく。一人の日本人女性が、東京都奥多摩近辺の橋から転落し、凍えるような川へ流された。川の流れと時間と闘い、第36空輸中隊資源管理顧問のマラカイ・マスタンゴ上級空兵は、急いでその女性を救いに川に飛び込んだ。

その日、マスタンゴ上級空兵がハイキングをしていると、人けの少ない場所に、橋と川を見つけた。橋の片側では、穏やかな水が流れる場所で人々が 泳いだりくつろいだりしていたが、もう一方の側では様相が一変していた。



マスタンゴ上級空兵は、「橋の上から川を見下ろしていた。柵がほとんどない状態で、誰かが滑って落ちてもおかしくないと思った」と振り返る。

ハイキングを続け、橋を離れて浅瀬の近くへと下り、川に太陽の光が差し込む光景を眺めていた。その心奪われる景色に惹かれ、 思わずカメラを向けた。

「カメラのシャッターを切っていたその時、彼女が落ちるのが見えた」と彼は言う。

画面に映った動きが何だったのか確信できず、カメラを下ろしてそれを見てみると、一瞬動きが止まった。

「プロのクリフ・ジャンパーか何かだろう?」と半信半疑で周囲を見渡した。

周囲を見渡すも、自分だけがそれを目撃していたことに困惑した。

マスタンゴ上級空兵は、「現に今起こっていることを、すぐに状況を把握した。大声でその女性に呼びかけたが、返事も動きもなかった」と振り返る。

次の瞬間、マスタンゴ上級空兵は財布と鍵を友人に預け、周囲の人に救助を要請するよう指示すると、自ら川へ飛び込み、その女性を救助しに向かった。

「川の水は凍えるほど冷たかった。でも一刻を争うと思い、立ち止まる余裕もなかった」と彼は語る。

激流と突き刺さるような冷たさの中、彼はひたすら懸命に女性に向かって泳ぎ続けた。

彼がその女性のもとへ到達した時、その女性はギザギザした岩にしがみつきながらも、激しい水の流れに今にも手が離れそうだった。

「高所から落下したので、医療的には、脊椎に損傷を受けている可能性を考えると動かさない方がいいと思った。でもそのままにしていたら、流されてしまうと思った」とマスタンゴ上級空兵は言う。

彼は自らの体に彼女を固定させながら、彼女をより穏やかな流れの岩場へと慎重に移動させた。

マスタンゴ上級空兵の脳裏に浮かんだのは、空軍のすべて空兵が受ける戦術的戦傷救護訓練の記憶だった。止血帯などは持ち合わせていなかったが、彼は彼女の身体の状態を確認し、応急処置を試みた。

「出血がないかその女性の全身を確認した。幸いにも出血は見られなかったが、強い痛みを訴えていたので、内部の損傷などが あるかもしれないと思った」と彼は言う。

女性の怪我がどれほどか分からない中、マスタンゴ上級空兵にできるのは救助が来ることを待つことだけだった。

マスタンゴ上級空兵は、「彼女の唇が青ざめ始め、命の危険が迫っているのではないかと思い始めた」と話す。

言葉の壁と限られた資源の中、疎通を図るのはほぼ不可能だった。恐怖だけが時間を引き延ばしていく。

「その時、彼女が『ワン・ワン・ナイン』と日本の緊急通報番号を口にした。自分は彼女に大丈夫だということを伝えようとした。彼女に通じていることをただ願って」とマスタンゴ上級空兵は言った。

そして女性を川から守って約2時間後、日本の救助隊が到着し、二人を岩場から救出した。

「時が永遠に感じた。でも救急隊員が来た時にはすべて必要なものが整っていて、心から安心した」とマスタンゴ上級空兵は語る。

マスタンゴ上級空兵にとって、この勇敢な行動は、称賛を求めたものではない。空軍が掲げる「誠実」「自己を超えた奉仕」「卓越性」の価値観を体現するものだった。

この出来事を振り返り、マスタンゴ上級空兵は、空軍のコア・バリューは、単に空兵としての価値観に留まらず、彼の日常生活の指針になっていると考えている。制服を脱いだときでさえ、その使命感とコミットメントが、誰かの命が危険にさらされているときにも躊躇することなく行動できる力となった。

「空軍のコアバリューは、自身にとって本当に大切なものだ。それは軍人としてだけでなく、一人の人間としてのあり方にも通じている。自分の行動が誰かの助けとなり、それに続いて助けを必要としている人のために動いてくれる人々がいれば、こんなに嬉しいことはないと思う」とマスタンゴ上級空兵は述べた。